

# 三八支部通信

現地、Zoom合わせて 100 名を超える  
お申し込みをいただきました！ご参加ありがとうございました！

青森県社会福祉士会 三八支部

生活支援ネットワーク「ライフ」

令和6年6月29日(土)

## 合同研修会開催

### Turning Point 65

65歳問題における障害福祉サービスと

介護保険サービスの協働と連携！

～お互いのサービスのことを知ろう！繋がろう！～

障害分野、介護分野それぞれの領域のことについて、お互いがよくわからない、なかなか関わる機会も少ない…それであれば、現在国でも問題視されている「障害者の65歳、障害と介護のサービスの切り替わり問題」について、他分野の方が一同に集まり、繋がれるような研修を開催しようという趣旨で開催しました！

講師：ビリーブケアプラン八戸中央 佐藤 綾花 様（介護支援専門員・相談支援専門員）



障害・介護双方の領域でご活躍の佐藤様を講師に迎え、研修申込みにあたり事前に収集した質問に対しての説明をLIVE形式でお話していただきました。

今後一つの法律に本当にまとまるのか?!と思うほど、サービスの利用や制度設計の違いもあること。また、わからないことで（例えば介護と違い暫定利用ができないサービスがあるとか…）支援者として逆に利用者に不利益を与える恐れもあることなど。

まさに両分野を知る方からの説明に、なるほど!!と共感する部分が多々ありました。障害分野で活躍されている社会福祉士も多いと思いますが、この65歳切替問題については、一概にこれが正しい!!という結論付けではなく、その利用者様の支援の状況により、サービスも、住まいも、年金等の生活費も、キーパーソンも、あるべき形にコーディネートしていくことが重要である。それが支援者としての責務であり、両分野を「共存させ利用者目線で組み立てる」ことが重要なんだろうと思います。大変勉強になりました。また、この研修の趣旨もそうですが、「勉強したからといってすべてを把握するのは難しい。わからない部分は行政やそれぞれの専門分野に相談できる人を確立すること!」改めてその通りだと実感しました。

生活支援ネットワーク「ライフ」山崎代表

団体の説明として、まだ措置制度の時代から障害分野の困難事例についての共有や計画作成など、ネットワークを通じて生活支援だけでなく勉強会など相互のスキル向上を図り支援の現場へ還元する！そんな想いを持つ方々で構成されている団体です。社会福祉士会と併せて、こちらの団体に加入されている方もいらっしゃいます。



 青森県社会福祉士会 三八支部 小泉支部長

合同研修にあたり、本会のこともよくわからない方も多いため、県社会福祉士会、支部構成、そして具体的な活動についてお話いただきました。人材育成を通じて医療や福祉の各現場で組織の核になりうる人を配置できるようにしていきたい！そして多分野で福祉的連携が取りやすい環境ができれば！との想いを伝えていただきました。

グループワークはzoomも合わせて  
15グループ編成に

一回では物足りない！また繋がる機会があってほしい！

そんな声を多数いただきました

